

寄宿舎だより

愛知県立名古屋盲学校 寄宿舎

第2号

令和 7年 10月発行

今年の夏は、昨年度よりもさらに暑く厳しい夏となりましたが、体調にお変わりありませんか。さて、学校も2学期が始まりました。今学期は文化祭や修学旅行、家族参観日など学校行事もたくさんあります。寄宿舎も9月から新しく舎生が2名入りました。大人を中心とした空間になっていたのですが、若いエネルギーが入ることで、新たな化学変化が起きて、これまでとは違った寄宿舎に変化していくことを期待しています。

寄宿舎フェスタ

少し前の話ですが、寄宿舎の夏のイベントの「寄宿舎フェスタ」が行われました。内容は、2部制に分かれて、第1部は名電高校吹奏楽部の演奏と、演奏して下さった吹奏楽部の生徒さんと舎生が、グループに分かれての交流ゲームを行いました。第2部は校長先生たちと一緒に夕食を楽しみました。



第1部 名電高校の演奏



名電高校吹奏楽部の演奏は、ディズニーやジブリの映画音楽を中心に演奏して頂きました。聞いていた舎生も知っている曲ばかりだったため、手拍子をしたり、歌詞をロずさんだり、中には前に出て踊りだしてしまう舎生もいて楽しい時間を過ごすことができました。毎年、夏のとても忙しい時期に時間を割いて来てくださり、本当に感謝しています。

交流ゲーム



言葉かくれんぼゲーム



あたまおしりゲーム

第2部 食事会



この食事は、舎生のリクエストにより作ってもらっています。普段ではなかなか出ない献立もあり、舎生も毎年とても楽しみにしています。また、校長先生たちと一緒に食べられることも、舎生たちにとっては貴重な時間になっています。

寄宿舎の避難訓練について

寄宿舎では、年に4回の避難訓練を行っています。

訓練の内容については、

- ①不審者対応訓練
- ②地震訓練
- ③火災訓練
- ④地震からの火災訓練になっています。



訓練も、事前に舎生に連絡をして行う訓練と、全く知らせずに行う抜き打ちの訓練があります。

舎生には、毎学期初めに係より、放送をしっかりと聞いて、今何の訓練を行っているのかをまず確認すること。

不審者であれば、指導員の声や笛の音が聞こえたら自室のドアのカギを閉めること。地震や火災であれば、避難に必要な物（ヘルメット、懐中電灯、ハンカチなど）を持って、安全に避難するようにと話をしています。

ただ、実際の訓練では、慌ててしまって避難に必要なものを忘れてしまう舎生もいますが、けがなく安全に避難することが一番大切であることを伝えています。

2学期は火災の訓練がありますので、どこで火災が起きているのか、どこを通過して避難するのかなど、放送をよく聞いて行動してほしいです。



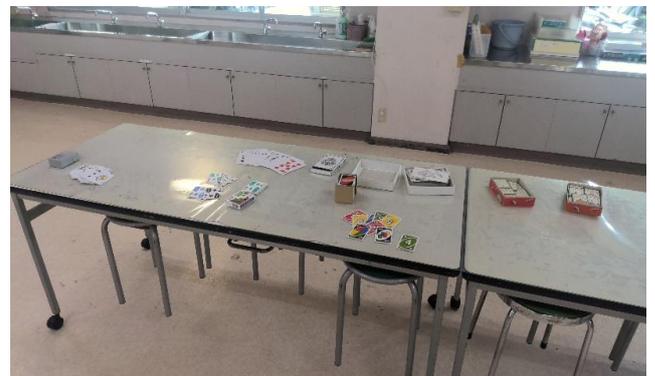
新入舎生が生活します



9月より、新舎生が生活をします。小学部2年の男子2名（K君とM君）です。2人は以前から寄宿舎での生活に興味があり、体験入舎も何度かチャレンジし、本人たちも寄宿舎での生活に不安がなくなり、9月から週1回の宿泊を始めることになりました。

本人たちからは「楽しみで仕方ない」とのコメントももらっています。ただ、これからが2人にとっての本当の寄宿舎での集団生活になっていくので、先輩たちとうまくコミュニケーションを取りながら、楽しくまた自身の成長の糧になるような寄宿舎生活にしていってほしいと思います。

サマースクールで「寄宿舎体験」を実施しました！



夏期休業中に毎年、名盲サマースクールを実施しています。寄宿舎も毎年「寄宿舎体験」というコーナーを設置しており、今年度は洗濯と余暇をテーマに体験してもらいました。洗濯体験では、様々な洗剤を触ってみたいり溶かしてみたりする体験や洗濯干しの便利グッズの紹介をしました。余暇体験では、点字付きのUNOや色や大きさが配慮されているトランプ、視覚障害者でも遊びやすいオセロなどで遊び、とても盛り上がりました。見えない、見えにくい困難があっても、生活はちょっとした工夫で、豊かになることも多くあります。ご興味がありましたら、指導員へお声がけください。

次の発行は2月を予定しています。内容に関して、ご質問やご要望等がありましたら、ぜひ、寄宿舎までお問い合わせください。